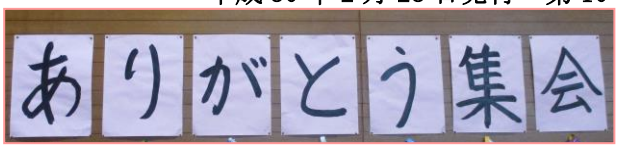
白山小学校学校運営協議会
はくざんコミュニティ・スクールだより

平成 30 年 2 月 28 日発行　第 10 号



２月７日に，共に活動したサポーターのみなさんを招いたありがとう集会がありました。今年度もコミュニティ・スクール活動に，のべ 380 名のみなさんが参加しました。そして，集会には 68 名のサポーターのみなさんが出席しました。今回は，ふれあい班（異学年の児童集団）がサポーターのみなさんと「白山もの知りクイズ」に挑戦しました。その後，全員合唱に合わせて，活動を映像で振り返りました。最後に，サポーターを代表して，井戸老人クラブ寿楽会古市福夫会長さんより，「ふれあい遠足では，上学年と下学年が互いに敬愛し合う姿が見られ感動しました。そして，清掃活動で地域の人々が延々と守ってきた郷土の文化財を丁寧に掃除してくれました。これからも郷土の文化財や自然，お世話になっている公共施設を大切にしてほしいです。みなさんが『健康，友愛，奉仕』の気持ちをもち，豊かな学校生活を送ってくれることが私たちの願いです。」という励ましの言葉がありました。

サポーターさんと手をつないで体いくかんに行きました。サポーターさんの手はあたたかかったです。

さい後に「あすをしんじて」を歌いました。いっしょにしたことを思い出しながらありがとうの気もちをこめて歌ったのでサポーターの人にありがとうの気もちがつたわったと思いました。

私は、今日ありがとう集会で、いろいろなことを学びました。一つ目はサポーターの方への感しゃです。理由は、いつも登校している時に寒い中立ってくださっているからです。

二つ目は思いやりです。理由は時どき、サポーターの方に会うとやさしく笑顔で「おはよう。」と声をかけてくれるからです。私は、これからも相手より先にあいさつをしようと思います。

ぼくは、ありがとう集会で、初めてサポーターさんを紹介する役になりました。ありがとう集会のリハーサルでは、何度も失敗してしまいできるか心配でした。

本番になり、きんちょうとプレッシャーが大きかったです。サポーターさんの名前を紹介しているとなんとか気もちをこめて言えっまらずに終わることができ、とてもよかったです。

わたしは、サポーターのかぐらさんと手をつなぎました。つないだ時、そっと小ぐらさんがわたしの手をりょう手でさわって「つめたいね。」と言われました。そしてお花のアーチをくぐった時、とてもはずかしかったです。わたしがサポーターさんをいすにつれていった時「ありがとう。つれて来てくれて。」と言ってくれました。わたしは「ありがとう」の言葉がうれしかったです。

ありがとう集会に向けて、全児童が何らかの役割を担い、心を込めて準備を進めました。

昔のくらしを教わろう！

３年生は，ありがとう集会のあと残ってくださった老人クラブ１３名のみなさんといっしょに昔のくらしについて学習しました。グループごとに分かれて，児童がサポーターのみなさんに質問し，昔の生活やくらし，学校の様子を教わりました。子どもたちは，「昔の生活が今と全然違っていることに驚いた。いろいろなお話を聞くことができて楽しかった。」と話していました。

琴と尺八を体験しよう！

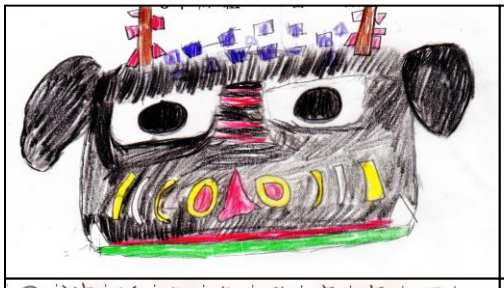
４年生は，２月１３日にお琴教室の忰山先生とお弟子さん，尺八を演奏される西森先生の６名の方をお招きして，琴と尺八の体験教室を行いました。子どもたちは，「さくら変奏曲」を鑑賞したあと，教えていただきながら実際にお琴と尺八を演奏し，本物の音を体験しました。

花育活動

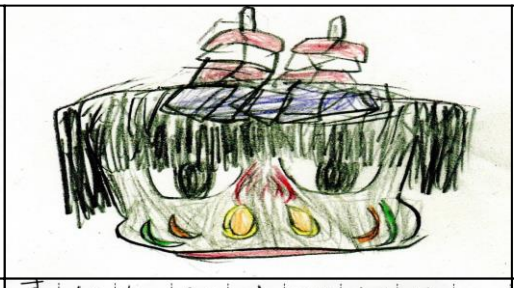
６年生は，２月１３日に県の花育活動事業により，フラワーアレンジメントを行いました。子どもたちは，講師の藤田さん，谷本さん，市原さん，森さんに教えていただき，一本一本丁寧に生けていきました。出来上がったお花は，家に持ち帰り，お家の方へメッセージを添えて手渡し，感謝の気持ちを伝えました。

大獅子の話

３年生は，２月１５日に安西哲夫さん，安西弘さんに大獅子の話をお聞きしました。大獅子を作った由来や獅子の制作について写真を見ながら説明してくださいました。また，子どもたちのたくさんの質問にも丁寧に答えてくださいました。子どもたちはまず大獅子の大きさに驚き，最初の獅子は１６０年も前には作られていたこと，中身は竹で，和紙を張って作っていること，今は固定しているが，耳が動くなどたくさんの発見があり，感心しながら興味深く聞いていました。



わたしは、はじめて近くで、大じしを見ました。その大きさにとてもびっくりしました。かみは、女の人のかみだと聞いてびっくりしました。竹や和紙も使って自分たちで作るところがすごいと思いました。次の大じしの油布がレインボーになるのが楽しみです。



大じしの話を聞いて昔はしし舞がなぐらいいたことを知ってとてもびっくりしました。ししの中は竹で作っているということをはじめて知りました。四年もかけてていねいに作った話を聞いてすごいと思いました。

二木町には、ほかにも大じしがあるけれど、みんなで頭をかついでいるかうことが自まんだと分かりました。大じしは大きいけれど、やさしそうな顔でまもってくれそうでした。